

# 平成30年7月西日本豪雨災害

## 被災から復興までの道のり

### 総社吉備路商工会

平成30年7月西日本豪雨災害の記録

#### 1. 総社市における西日本豪雨災害の概要

##### (1) 発生原因

平成30年7月4日から降り始めた雨は、7月7日までの間に総社降水観測所の記録では累計で298mmとなったが、降り方は集中豪雨的な降り方ではなく断続的に長時間降り続いた結果、小河川が満水状態となり更に高梁川の水位は長雨に上流ダムの放流が相まって急激に上昇し、内水氾濫または越水による災害が発生した。

##### (2) 被害状況

高梁川の越水により、下倉（草田）地区で堤防の決壊2か所や作原地区で氾濫、下原地区では決壊した小田川からの水が流入して浸水被害が発生した。

その他、清音地区、富原地区など市内の広い地区で浸水被害が発生した。

##### ① 人的被害

死者	4人	負傷者	38人
----	----	-----	-----

##### ② 建物被害

地区	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
旧総社	54	172	220	482	928
昭和	122	148	291	70	631
清音	1	9	65	166	241
山手	7			3	10
合計	184	329	576	721	1,810

##### ③ 産業被害

商工業	24億円	商工会関連3億円、会議所関連21億円
農機具関連	8億円	被災農家274戸

##### ④ 公共土木・農林水産施設被害

区分	被害箇所数	区分	被害箇所数
市道	325	ため池	16
河川	55	林道	57
農道・水路	297	その他	66

※ 合計 816箇所

#### 2. 平成30年7月西日本豪雨災害に伴う国等の支援

平成30年7月24日、西日本豪雨災害を「激甚災害」に指定する政令が閣議決定され、西日本豪雨災害で被災した中小企業等の復興を支援するため、平成30年8月に中小企業等がグループを形成して「復興事業計画」を策定し、県の認定を受けた場合に、そのグループに参加する事業者が行う施設復旧等の費用の一部を支援する「グループ補助金」が適用されることとなった。

また、災害型持続化補助金等の各種支援策も適用された。

### 3. 当商工会の支援体制

商工会としてはスピード感を持って商工会が一体となった支援体制で事業所の復興を支援した。

- ・商工会（事務局）主導による復興事業計画書の作成と支援
- ・中小機構（復興アドバイザー）との連携による計画的な交付申請書作成の支援
- ・事務局（毎日のWeb会議による情報交換）による事業所の復興に向けた速やかな対応と支援

### 4. 当商工会の取組や支援内容

日付	項 目	備 考
H30. 7. 7(土)	越水、内水氾濫による西日本豪雨災害発生、7.6下原地区の工場爆発が発生	
7. 8(日)	職員山部が被害の大きい昭和地区を視察 (局長へ連絡し月曜日の対応を相談する)	
7. 9(月)	吉澤威人会長、杉原事務局長、山部支援課長、石橋指導員が昭和地区の会員事業所を訪問して被災状況の情報収集をする	
”	昭和、清音、山手の各地区会員の被害状況を確認するため各地区担当職員が、会員事業所巡回	
7.10(火)	災害支援物資の募集開始 (各商工会からの支援物資が中継地点として当商工会へ集まる)	会員・青年部・女性部
7.13(金)	災害支援物資を真備船穂商工会へ搬入	杉原
7.22(日)	中小企業庁長官の昭和地区被災状況視察に同行  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中小企業庁</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">経済産業省</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中小機構 中国本部</div> </div> <p>中小企業庁長官 安藤久佳 中小企業政策統括調整官 吉野恭司 経営支援部 小規模企業振興課 係員 笹目 祐</p> <p>大臣官房審議官 上田洋二 大臣官房付 元中小企業庁長官官房総務課長 信谷和重 中国経済産業局 産業部長 向井 裕</p> <p>本部長 村松清孝 経営支援部長 野沢俊幸</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>総社市の被災状況を説明する石橋指導員 (総社吉備路商工会 昭和支所にて)</p> <p>浅沼建設工業(株)の被災状況を説明 (浅沼建設工業(株)事務所にて)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">総社市</div> <p>総社市長 片岡聡一 総社市産業部長 中田暢彦 総社市産業部企業誘致 商工振興課 課長補佐 小原靖子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">岡山県商工会連合会</div> <p>サポートセンター長 石井宏幸</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">総社吉備路商工会</div> <p>会長 吉澤威人 支援課長 山部 隆 経営指導員 石橋祐也</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>
7.24(火)	岡山県、広島県、愛媛県を激甚災害に指定する政令が閣議決定	
7.30(月)	岡山県、中国経済産業局担当者の被災事業所訪問に同行 ・中国経済産業局 ・岡山県産業労働部 ・岡山県産業振興財団 ・総社市	清音、昭和会員 6事業所訪問
8. 3(金)	岡山県、中国経済産業局担当者が被災事業所を訪問してグループ補助金の情報提供に同行 ・中国経済産業局 ・岡山県産業労働部 ・総社市	清音、昭和の会員 各1事業所訪問
8. 6(月)	県連による熊本地震災害のグループ補助金資料による勉強会を実施 ・岡山県グループ補助金のスケジュール(今後の県・国の動き・商工会の対応) ・熊本地震の際の県連・商工会対応と出来事(熊本県下の事例を説明)	・県連石井センター長 ・被災地域の商工会 指導員15名
8. 7(火)	被災事業所にグループ補助金説明会実施の案内開始	47事業所へ案内
8.13(月)	中国経済産業局へ当商工会でのグループ補助金説明会開催を依頼	
8.23(木)	支援機関向けグループ補助金説明会へ出席(岡山県立図書館)	山部
8.24(金)	職員によるグループ補助金勉強会 (今後の総社吉備路商工会の対応の骨組みを決める)	杉原・山部 三宅・石橋
8.27(月)	被災事業所向けグループ補助金説明会へ出席(倉敷市芸文館)	杉原・三宅・石橋

H30. 8. 28(火)	当商工会でのグループ補助金説明会開催を案内 (山手本部と昭和支所の2か所で計画)	50事業所へ案内
9. 3(月)	美袋消防署でグループ補助金説明会を実施 ・被災支援事業者支援制度の説明 ①国の支援メニューについて ②中小企業等「グループ補助金」について ③小規模事業者「持続化補助金」について ④グループ設立及びグループの参加について→(参加締切:9月7日、12:00) ⑤補助金申請の必要書類及び作成スケジュール等 → 事業所に、何が必要で、これから何をすべきか具体的に説明 ⑥参加者の質疑応答    美袋交消防署での説明会 (9/3)      山手本部での説明会 (9/4)	参加者 24名 グループへの ・参加意思の確認 ・検討課題の意見集約 ・加入の注意事項 ・復興事業(案)
9. 4(火)	商工会本部でグループ補助金説明会を実施 【9/3日と同じ内容】	参加者15名
9. 14(金)	<b>吉備路を元気にするグループ設立</b> ・名称: 総社吉備路商工会「吉備路を元気にするグループ」 ・機能の属性: 地域生活・産業基盤型 ・事業目的: 災害地域の復興 ・事業内容: 防災セミナー等を開催して水害のみならず震災や火災等に対して防災に関する啓蒙活動を推進する。 ・代表: 有まるみ麴本店 代表取締役 山辺啓三氏	参加者23事業所
10. 5(金)	岡山県に岡山県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業復興事業計画認定申請書を提出 (9/14: 設立 23 事業所→2 事業所脱退・1 事業所加入)	参加者22事業所
11. 2(金)	グループ補助金に係る復興事業計画が認定	
11. 7(水)	商工会本部・昭和公民館でグループ補助金の交付申請手続きに関する説明会を開催 ①グループ補助金にかかる交付申請手続きについて ②グループ補助金無利子貸付制度のご案内 ③グループ補助金の交付申請手続きの個別相談会(アドバイザー2名) ・毎週(水)を昭和会場、毎週(木)を山手会場とする。 ④総社吉備路商工会「吉備路を元気にするグループ」復興事業について ・事業計画(案)、復興事業予算(案)を説明 ⑤その他質疑応答    山手本部での説明会      昭和公民館での説明	商工会本部14名 (内事業所8名) 昭和公民館18名 (内事業所8名)
H30. 11. 14(水) ～ H31. 3. 7(木)	交付申請書作成サポートのため中小機構から復興支援アドバイザーとして中小企業診断士による個別相談会を実施 ・期間中24日間の相談日を設定する。 →内14日間で実施し16事業所が延べ29回利用した。	
11. 22(木)	第1回 岡山県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業復興事業計画変更申請 (以下 変更申請という) (脱退1件) 保険金受領、(追加1件) 施設等の新たな追加、(申請中止1件)	H30. 12. 27(木) 変更申請 認可
12. 27(木)	平成30年度岡山県中小企業等グループ施設等復旧整備補助金交付決定(以下、交付決定という) (2事業者)	
12. 28(金)	第2回 変更申請 (脱退2件) 被災型持続化補助金に変更1件、設備の新たな追加1件	H31. 1. 17(木) 変更申請 認可

H31. 1. 31(木)	交付決定 (1事業者)	計 3 件
2. 27(水)	第3回 変更申請 補助金申請中止 1 件 : 理由 (被災型持続化補助金に変更)	H31. 3. 7(木) 変更申請認可
2. 28(木)	交付決定 (4事業者)	計 7 件
4. 3(水)	交付決定 (5事業者)	計 12 件
5. 8(水)	第4回 変更申請 脱退 1 件 (補助金申請取下げ) : 理由 保険金が確定	R1. 5. 15(水) 変更申請認可
5. 29(水)	交付決定 (2事業者)	計 14 件
6. 20(木)	第5回 変更申請 (設備の新たな追加1件)	R1. 7. 3(水) 変更申請認可
6. 26(水)	交付決定 (1事業者)	計 15 件
8. 28(水)	交付決定 (1事業者) ※ (補助金申請者16件全員が交付決定)	計 16 件
	【補助金申請の交付決定後の手続き】 → ・被災施設・設備を復旧して実績報告書 → ・岡山県による復旧状況の現地検査 → ・検査合格後に補助金支払の申請 → ・岡山県から指定口座に補助金振込	
R2. 3. 13(金)	グループ補助金申請者16件の内15件は補助金受領済み、4月上旬1件受領で終了	

## 5. 復興事業

R1. 12. 2(月)	<p>災害対策セミナー・復旧事業報告会を開催</p>  <p>岡山県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業 総社吉備路商工会「吉備路を元気にするグループ」主催</p> <p><b>「災害対策セミナー・復旧事業報告会」</b> <b>事業所のより強力な復興に向けて</b> <b>将来の災害に備える!</b></p> <p>12月2日、平成30年7月西日本豪雨災害で被災しグループ補助金グループに参加した18事業所がほぼ復興できたことを受けて、グループ補助金の復興事業として「災害対策セミナー・復旧事業報告会」を4部構成で開催しました。</p> <p><b>第1部</b> 講師：グループ代表者の備まるみ製本店 代表取締役 山辺啓三氏 題名：「被災体験から伝える、経営者が今日から取るべき行動」 内容：被災当初の経営者としての行動や決断、従業員の懸命な協力による復興、また関係者との日頃からの付き合い方の講演をされました。</p> <p><b>第2部</b> 昭和、清音及び山手の各地区事業所が被災内容、復興状況および将来への備えについて報告・発表していただきました。この中で、災害復興では商工会に大変お世話になりましたとお声もいただき商工会職員一同感激いたしました。</p> <p><b>第3部</b> 講師：中小企業診断士 藤井正徳氏 題名：「中小・小規模事業者のための、いまずぐ出来る災害リスク対策術」 内容：経営をとりまく様々なリスクの洗い出しと危機管理構築が儲ける経営につながる主旨の講演をされました。</p> <p><b>第4部</b> 山辺啓三氏と藤井正徳氏による討論を行い、その中で非常時における従業員との連絡手段の確保や今後の各種補助金を活用する際に有効となる経済産業省の「事業継続力強化計画」認定の取得が重要であるとのご意見をいただきました。</p> <p>災害を経験された事業所の方々には今回の講演は非常に有益なものであり、将来に備えることを考える貴重な場となりました。本記事をお読みの方も、水害・土砂崩れ・地震等の自然災害が発生した場合を想定して、避難場所や避難用品などをご家族・職場で考えて準備されることを願います。</p> <p><b>当会のグループにおけるグループ補助金の進捗状況</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">●中小企業等グループ施設等復旧整備補助金交付決定</th> </tr> <tr> <th>年月日</th> <th>H30.12.27</th> <th>H31.1.31</th> <th>H31.2.28</th> <th>H31.4.3</th> <th>R1.5.29</th> <th>R1.6.26</th> <th>R1.8.28</th> <th>事業所合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table> <p>グループ補助金事業所18件→補助金申請企業16件→交付決定事業所16件→実績報告15件提出済</p>	●中小企業等グループ施設等復旧整備補助金交付決定								年月日	H30.12.27	H31.1.31	H31.2.28	H31.4.3	R1.5.29	R1.6.26	R1.8.28	事業所合計	件数	2	1	4	5	2	1	1	16件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ参加事業所がほぼ復興できたことを受けてグループ補助金の復興事業として開催</li> <li>・第35号総社吉備路商工会報の記事を掲載</li> <li>・グループ参加者 16名出席</li> </ul>
●中小企業等グループ施設等復旧整備補助金交付決定																												
年月日	H30.12.27	H31.1.31	H31.2.28	H31.4.3	R1.5.29	R1.6.26	R1.8.28	事業所合計																				
件数	2	1	4	5	2	1	1	16件																				
R2. 3. 10(火)	<p>グループ補助金の「復興事業」として「防災(復興)新聞」を発刊</p> <p>作成趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月豪雨災害発生の記録保存</li> <li>・事業者自身が被災した体験の記録</li> <li>・今回の体験を基に将来への備えを考える資料として後世へ伝える</li> </ul>	グループ参加事業所毎に作成																										

## 6. 支援企業数と補助金の額

単位：千円

名称	補助金申請件数	交付決定額	補助金支払額	備考
グループ補助金	16件	139,266	136,784	
持続化補助金(被災型)	直接被害	19件	28,462	24,491 (3件中止)
	間接被害	2件	1,545	0 (2件中止)
合計	37件	169,233	161,275	

※ グループ補助金と持続化補助金の両方を申請した事業所は5事業所